

学術情報センターでは、新入生へのオリエンテーション等を実施するとともに、精力的に選書を行い、学習用図書の拡充に努めた。また、データベース・電子ジャーナルの拡充にも力を注ぎ、利用環境の充実を図った。施設関係では大宮図書館改修工事が完了し、学術情報センターの利用者により高次のサービス提供が行える環境を整備した。

更に、学術情報センターでは、平成17年4月1日から、全国規模で大学図書館の改善発達を図ることを目的に私立大学図書館で構成される私立大学図書館協会（加盟校486校）の会長校を担当した。（任期2年間）センター長が会長となり、総会、常任幹事会、東西合同役員会等各種会議の運営を行っている。

1) 図書・学術情報を活用した教育支援

○新入生オリエンテーション

深草及び瀬田図書館では、新入生のオリエンテーションの中で、学術情報センターの概要、図書館の使い方、資料検索方法など、図書館を利用する上での基本的な事項の説明会を開催した。更に、希望者には図書館の利用方法や実際の資料の配架場所等を案内する図書館ツアーを実施した。

○各種データベースの利用講習会の実施

学部生や院生を対象に、学術情報センターが導入しているオンラインデータベースを用いて、図書・雑誌・論文・新聞記事等の基本的な調べ方や、レポート・論文作成・企業情報収集のための情報検索法についての講習会を定期的に開催した。

○学生用図書の充実

学術情報センターでは、各図書館で選書委員会を設け、各館の専任職員が選書委員となり、学生用図書の充実に向けて定期的に選書を行なった。

2) 図書・学術情報を活用した研究支援

○電子化への取り組み

学術情報センターでは、これまで25種類のデータベースと約1,000タイトルの電子ジャーナルを利用可能としてきたが、平成17年度には、次の3種類を含む7種類の外部データベースを導入し、利用環境の充実を図った。

- ・NII論文情報ナビゲータ C i N i i [サイニイ] (NACSIS-IRより移行)
- ・Physical review OnLine Archive (PROLA) の1部
- ・ローライブラリ、LLI (法科大学院用)

○古典籍アーカイブへの取り組み

古典籍デジタルアーカイブ研究センターと連携し、約9,000点にもおよぶ大谷探検隊シルクロード収集資料「大谷文書」のすべてをデジタル画像化し、データベース化することを進めており、次世代電子ライブラリーシステム構築に向けて古典籍画像の更新をはかっている。これは、大英図書館が主催する国際敦煌学研究プロジェクトの一環でもあり、共同研究として参画しているものである。

○新任教員を対象とする図書館利用説明会の実施

大学教育開発センター主催による新任教育職員対象の説明会にて、図書館の概要・各

種サービスの説明、オンラインによる資料検索（データベース等）、図書発注方法等の説明を行い、併せて図書館案内（書庫・各窓口等）を実施した。

3) 図書・学術情報利用環境の整備

○図書等資料の充実

平成17年度は、内外等併せて4万8千点の資料を選書方針にしたがって計画的に収集した。その結果、学術情報センター全体で174万冊強の所蔵となった。

○大宮図書館改修工事の完成

大宮図書館は、昭和11年（1936年）に建設され、現在では、国宝・重要文化財等を含み60万冊を越える図書資料を収蔵する図書館となった。しかし、現代のネット環境等新しい機能に対応し、高次の情報を発信できる図書館をめざして平成15年10月に改修工事を開始し、平成18年1月に完成した。

その結果、建物全体の耐震性の向上、長期的な図書資料の収蔵スペースの確保、タスクアンビエント方式の採用による環境への配慮を行い、図書館エリアではバリアフリー環境を実現した。

○瀬田図書館新棟書庫スペースの確保について

瀬田学舎瀬田新棟建築にあたり、新たな図書収納スペースを同施設内に確保することが可能となった。この図書収納スペースの具体的活用方法については、今後学術情報センターと瀬田3学部図書委員会を中心に検討することとなるが、現在は導入設備・システム等の資料・情報を蓄積している状況である。